

1 本単元で目指す姿

自他の学びをつなぎ、樽砧に対する思いや願いを更新する子ども


総合学習に固有な「見方・考え方」と音楽的な「見方・考え方」とを働かせ、整理した情報を多面的・多角的に解釈する力を発揮して、「友達が叩く音や様子を気に掛けたり、掛け声を入れたりすることでみんなの叩くリズムや速さを合わせる事ができた。みんなのリズムがぴったりと合って、迫力のある演奏になりとても嬉しかった。今まで学んできたことを生かせば、残りの打ち方もマスターできるかもしれない。残りの打ち方もみんなと合わせられるようになって、岡澤さんたちのようになりたい」などと、思いや願いを新たにし、樽砧と自分のかかわり方を考える子ども

2 本単元で育成する資質・能力、そのために子どもが働かせる「見方・考え方」

虹の輪	「見方・考え方」		
	○ 伝統芸能がもつ魅力に着目し、伝統芸能とかかわる自己の在り方を考えること（以下、総合学習に固有な「見方・考え方」）		
	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③態度
	○実社会・実生活における様々な課題の解決に関する知識・技能	○整理した情報を多面的・多角的に解釈する力	○課題の解決に向けて、主体的に取り組もうとする態度（A） ○自ら社会にかかわり、参画しようとする態度（B）

音楽科	「見方・考え方」		
	○ 音楽を形づくる要素に着目し、自己のイメージと関連付けて考えること（以下、音楽的な「見方・考え方」）		
	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③態度
	○音楽の構造に関する知識（A） ○音を合わせることの知識・技能（B）	○曲の特徴にふさわしい音楽表現を試しながら考える力	

3 単元の計画

次	時	○学習活動	◆働き掛け	★資質・能力	評価する対象
				・予想される子どもの反応	◎評価
～1サイクル目については、授業資料の中に示す～					
二	5～6	○ 岡澤さんとの出会いから、2サイクル目の学習活動に思いや願いをもつ。	◆ 永島流樽砧の岡澤さんと出合わせ、樽砧にふれさせる。 ◆ 調べてみたいこと、取り組んでみたいことを問う。 ◆ 岡澤さんから、樽砧の基本的な打ちである「合わせ打ち」のマスターを提案してもらう。	・樽砧を叩いている岡澤さんはすごくかっこよかった。自分も岡澤さんのように、樽砧を叩けるようになりたい。 ・合わせ打ちをできるようにしたい。 <b>2サイクル目の思いや願い</b>	発話、ワークシート記述
	7～15	○ 2サイクル目の課題を設定する。 ○ 樽砧と触れ合うことで、樽砧について情報を収集する。 ○ 樽砧について収集した情報を整理・分析する。	◆ 実際に叩いてみる場を設け、気付いたことを問う。 ◆ 岡澤さんから、課題解決の手掛かりとなる情報の一部を提示してもらう。	★音楽①A, ★総合②, ★協働性 ・リズムよく叩くことが難しいぞ。 <b>【2サイクル目課題】</b> リズムよく叩くにはどうすればいいのだろうか。 音楽①繰り返しの部分があるぞ。 音楽①「トンツク～」を言いながら叩くとできるぞ。 	デジタルポートフォリオ 音①リズムよく叩くことができる。
	16	○ 課題を解決し、次の学習活動の見通しをもつ。	◆ 岡澤さんに来ていただき、成果発表会の場を設ける。	★音楽①A, ★総合③B ・だいぶ岡澤さんのように叩けるようになったぞ。 ・岡澤さんから言われたとおり二週間でだいたい叩けるようになったぞ。 <b>ぼくは、繰り返しを意識したり、「トンツク～」を覚えたりすることで、樽砧をだいたい思うとおりに叩けるようになりました。次は、みんなで合わせて叩いてみたいです。</b>	デジタルポートフォリオ 音①A合わせ打ちの繰り返しの構造を理解している。 ③樽砧とのかかわりを通して、次のサイクルへの思いや願いをもつことができる。
三	17	○ 3サイクル目の学習活動を創り出す。 ○ 3サイクル目の課題を設定し、解決の方法の見通しをもつ。	◆ モデルとなる伝承会の方々の映像を提示し、取り組んでみたいこととその理由とを問う。【働き掛け1】 ◆ 実際に叩く場を設け、気付いたことを問う。【働き掛け2-①】	・みんなの音や動きがぴったりそろってすごい。 ・わたしたちも、みんなで一緒に叩いて迫力ある演奏をしたい。 <b>3サイクル目の思いや願い</b> ・伝承会の人たちのように、そろわない。 ・私たちの演奏はリズムや音がバラバラだ。 <b>【3サイクル目課題】</b> どうすれば、友達と叩く速さを合わせることができるのか。	発話、ワークシート記述 ③課題解決に意欲をもつことができる。
	18～21	○ 実際の取組から、情報を収集し、整理・分析する。	◆ 課題解決につながる情報を追加提示する。【働き掛け2-②】 ◆ グループで叩く場を設ける。【働き掛け3-①】 ◆ その様子を振り返るという場を設ける。【働き掛け3-②】 ※働き掛け3は、複数回設定する。	★音楽①B②, ★総合②, ★協働性 ★ツール活用能力 音①丸くなることで、みんなの叩く様子がわかって、リズムやスピードが合わせやすくなるのだと思います。 音②（6月28日）みんなの演奏の様子が分かるように、向かい合って練習しよう。 音①総②（6月28日）友達の様子を少し意識できるようになったね。丸くなって叩くことがよかったです。次は、もっと友達の様子を意識できるようにしたいね。 音①（6月28日）向かい合うことで、友達の様子を意識して叩きました。また、合図が入ることで出だしがそろそろようになりました。次は、友達の様子をもっと意識して半分くらいまでそろそろようになりたいです。 ・（7月9日）自分もみんなも、リズムや速さを合わせて、最後まで演奏できました。岡澤さんにも、ぜひ聴いてほしいです。	VTR, 発話 デジタルポートフォリオ 音①友達の叩く音を意識して、みんなの演奏に合わせて叩くことができる。 音②リズムや速さを合わせるという意図をもって、音楽表現を試すことができる。 総②自分たちの演奏を映像で確認し、できていることやできていないこと、その要因などについて、情報を収集、分析できる。
	22	○ まとめ・表現の場として成果発表の場を設け課題解決する。	◆ 成果発表の場として永島流樽砧伝承会の岡澤さんから価値付けてもらう場を設け、発表後に、結論と今後取り組んでみたいことを問う。【働き掛け4】	★音楽①B, ★総合③B 友達が叩く音や様子を気に掛けたり、掛け声を入れたりすることでみんなの叩くリズムや速さを合わせる事ができた。みんなのリズムがぴったりと合って、迫力のある演奏になりとても嬉しかった。今まで学んできたことを生かせば、残りの打ち方もマスターできるかもしれない。残りの打ち方もみんなと合わせられるようになって、岡澤さんたちのようになりたい（Gn）。	デジタルポートフォリオ
23	○ 単元全体の学習活動をまとめる。	◆ デジタルポートフォリオを基に、「単元全体を通じた自己の変容」と「樽砧にかかわって分かったこと・思ったこと」という視点で、単元全体の学習を振り返る場を設ける。【働き掛け5】	★音楽①B, ★総合① 完璧ではないかもしれないけれど、みんなのリズムや速さを合わせる事ができた。大切なことは、友達の音を意識して叩くことが大切だと分かった。また、自分一人で叩くよりも、みんなで合わせて叩く方が楽しいし、できたときの喜びも大きかった。みんなで合わせて叩くということは、樽砧のよいところの一つだと思う。今度は、たくさんの人に、自分たちの演奏を聴いてもらいたい。	ワークシート	

--	--	--	--	--	--